

# いとう純一市政だより

いとう純一事務所  
〒232-0044  
横浜市南区榎町2-51  
TEL045-315-3115  
FAX045-315-3175  
Emai itou@bell.ocn.ne.jp

## 横浜市新年度予算案

次世代へ横浜をつなぐ、新たな一步を踏み出す年

横浜市は平成30年度  
の予算案を発表しました。  
市会で協議の上、3月23  
日の本会議で議決が行われ  
ることになります。予算規  
模は、一般会計で1兆7,  
300億円となり、前年度  
より5.1%増となっています。  
特別会計、公営企業  
会計を含めた全会計は3兆  
5,900億円となります。

発表に際し、林市長は「横  
浜市を将来にわたり明るい  
希望に満ちた都市にするた  
め、新たな中期計画を策定  
し、その初年度の歩みを踏  
み出すための予算案」と述  
べています。

新たな中期計画(201  
8~2021年度)策定に  
あたっての基本認識として、  
横浜市は2019年をピー

クに人口減少に転じ、超高  
齢社会が進展することが見  
込まれています。この中期  
計画の基本的方向では、2  
030年を展望して、次の  
世代へ「横浜」をつなぐ6  
つの戦略が提案されていま  
す。そして、予算案は6つ  
の戦略に沿って、「新たな  
ステージに挑む」として、  
【力強い経済成長と文化芸  
術創造都市の実現】【花と  
緑にあふれる環境先進都市】  
【超高齢社会への挑戦】  
【人が、企業が集い躍動す  
るまちづくり】、また「成  
長の基盤を支える」では、  
【未来を創る多様な人づく  
り】【未来を創る強靱な都  
市づくり】などへの予算配  
分を行っています。  
例えば【力強い経済成長】  
では「中小企業の人材確保、

魅力ある商店街づくり支援」  
「東京オリンピック・パラ  
リンピックの開催準備」。  
【超高齢社会への挑戦】で  
は「地域包括ケアシステム  
の推進」「特別養護老人ホ  
ームの整備」。  
【未来を創る多様な人づく  
り】では「小児医療費助成  
の拡大準備」「中学校昼食  
の選択制の充実」。  
【未来を創る強靱な都市づ  
くり】では「緊急輸送路の  
整備」「がけ地対策の推進」  
などです。

また、南区の「個性ある  
区づくり推進費」では「い  
いきシニア健康応募事業」  
「地域の力応援事業」、南  
区と局の連携事業では「公  
衆トイレの改修」も予算化  
されています。

## 新たな「中期4か年計画」策定へ

横浜市は1月に「2030年を展望し、次の世代へ横  
浜をつなぐ6つの戦略」を発表しました。計画は201  
8年度から2021年度の4年間の取組で、その考え方  
や骨子について示されたものです。

計画の策定にあたり、横浜市を取り巻く状況の基本認  
識として、右肩上がりだった人口も、来年をピークに減  
少することが見込まれること。また、少子高齢化の進  
展で労働力や社会の担い手の減少が危惧されることなど  
を挙げています。そして、これらの直面する課題を克服  
するために、2030年を展望した中期的な6つの戦略  
と、直近4年間で重点的に取り組む38の政策・行財政運  
営を発表しました。

6つの戦略は「力強い経済成長と文化芸術創造都市の  
実現」「花と緑にあふれる環境先進都市」「超高齢社会  
への挑戦」「人が、企業が集い躍動するまちづくり 成  
長と活力を生み出す都心部二誰もが住みたい、住み続け  
たいと思える郊外部」「未来を創る多様な人づくり」  
「未来を創る強靱な都市づくり 災害に強い安全で安心  
な都市 市民生活と経済活動を支える都市基盤」からな  
っています。

この中期計画は今年の5月頃に「素案の策定」が行わ  
れ、「広報よこはま」に掲載され、パブリックコメント  
の実施後に、9月頃に原案が策定される予定です。

素案が示されて以降、市会の中で区民の皆様の意見反  
映に努めてまいります。



## なんでも法律相談(無料)

お気軽にご相談ください・専門の弁護士が対応します

随時受付(まず事務所にお電話を)

045-315-3115

# いとう純一は立憲民主党でスタートします

いとう純一は、本年3月にこれまで所属していた民進党を離党し、立憲民主党へ入党することとなりました。

昨年10月の衆議院選挙以降、民進党が「立憲民主党」「希望の党」「無所属」と分裂したことで、結果として巨大与党の多数を維持させてしまいました。そして、その後も野党が混乱する政治状況を迎えてしまいました。

私は立憲主義と憲法の平和主義を、この横浜の地で

守り抜くことが使命であると思っています。また、私の考える基本的な方向性が最も近い政党が、立憲民主党でもあります。立憲民主党の神奈川県連が3月4日に設立され、この機に立憲民主党に入党し、いのち、雇用、暮らしを守るため、引き続き南区民の皆様の声に応えていきたいと改めて決意いたしました。

区民の皆様方におかれましても、ご理解とご支持を賜りますよう、ここにお願ひ申し上げる次第です。



## 立憲民主党の考え方(綱領の抜粋から)

私たちは、「立憲主義に基づく民主主義」と「多様性を認め合い、困ったときに寄り添い、お互いさまに支え合う社会」を実現するため、立憲民主党に集いました。

私たちは、一つの価値観を押し付ける政治ではなく、国民のみなさんとつながり、日常の暮らしや働く現場の声を立脚点としたボトムアップの政治を実現します。

私たちは、公正・公平なルールに基づく自由な社会を実現し、一人ひとりの持ち味が発揮され、それぞれに幸せを実感できる社会経済を目指します。

1. 立憲主義を守り、草の根からの民主主義を実践します
2. 未来への責任をまっとうし、活力ある共生社会をつくります
3. 公正な分配により人間のための経済を実現します
4. 国を守り国際社会の平和と繁栄に貢献します

## 立憲民主党県連結成

3月4日、立憲民主党神奈川県連の結成大会が、450名の参加を得て、開催されました。冒頭、昨年の衆議院選挙から立憲民主党の神奈川県連の設立にいたる経過が報告され、阿部知子県連代表からは「私たちは神奈川の地で、旗を立て帆を大きく張って皆さんの声を受けとめ、野党の推進力になる」との決意が語られました。総会には枝野幸男党代表も駆けつけ、「草の根からの民主主義を掲げているが、国会議員でできることには限りがある。地方議員の皆さんに地域の中に飛び込んで、力を発揮してもらいたい。大きな市民のうねりを作り出してほしい」と訴えました。

総会では、現職地方議員19名のほか38人の入党が発表されました。横浜市会からは、「いとう純一」ほか5名が入党しました。入党者の発表の際には、

「いとう純一」の名が呼ばれ、登壇にあたって大きな声援が送られました。

大会終了後には、枝野幸男代表と県内選出の5人の衆議院議員を中心に車座集会が開催されました。「立憲主義と草の根民主主義」「暮らしの安全」「経済産業・エネルギー政策」「外交・安全政策」などのテーマについて、会場内の参加者との一問一答形式で議論が行われました。

立憲民主党  
神奈川県連合役員体制  
代表

- 阿部 知子(衆議7期)  
幹事長  
青柳 陽一郎(衆議3期)  
政務調査会長  
篠原 豪 (衆議2期)  
組織・広報委員長  
中谷 一馬 (衆議1期)  
総務・県民運動委員長  
早稲田 夕希(衆議1期)

